

## フィリピン

## 地方道路網整備事業(Ⅰ)



本事業により舗装された国道

## [ 借款概要 ]

承諾額/実行額	5,266百万円 / 4,827百万円
借款契約調印	1991年7月
借款契約条件	金利2.7%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1999年4月

## [ 事業概要 ]

地方道路を整備することにより、地方経済の活性化及び住民の福利向上に寄与するもの。

## [ 評価結果 ]

フィリピンの地方道路は、主要幹線国道を中心に整備が進められてきたが、本事業は、次の段階として幹線国道に接続する二級国道及び州やバランガイが管轄する道路について舗装工事、橋梁建設等を行なったものであり、JBICの案件形成促進調査（SAPROF）により優先度の高い4州の道路を選定した上で、実施計画が策定された。

全体で43区間、約405kmの道路整備、30カ所の橋梁建設（1車線木造橋から2車線コンクリート橋等への改良）等が実施され、それぞれ1995年から99年にかけて順次完成した。

対象4州のひとつマ斯巴テ州を例に見ると、本事業の実施を挟んだ1988年から2000年の間に、平均交通量（台/日）は、乗用車（約85 240）、バス（約1 17）、トラック（約70 127）といずれも大幅に増加している。これにより地域住民の利便性は改善され、農産物の流通の改善沿線地域での工場新設、就業機会の増加がもたらされたとされる。

今後とも、国及び州政府において道路予算を確保し、適正な維持管理が実施されることが期待される。